

Handsome

発行人 鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 松本 啓 編集責任者 柴谷 政司 印刷所 東京印刷(株)

8月例会開催



8月19日(月)サンルート米子において、8月例会が開催され、講師に鳥取県企画部企画課の浅田正人氏を迎え、『第7次鳥取県総合計画』の概要について公演いただいた。本年4月よりスタートした『第7次鳥取県総合計画』は、21世紀初頭への時代潮流を踏まえ、3つの基本理念(開かれた社会の実現・人間的な暮らし方の実現・独創的な地域づくりの展開)のもと、基本目標を人と社会と自然が調和し、躍進する「公園都市」鳥取県をめざして定められている。この目標は、平成3年の施策、全県公園化構想がめざす快適な県土空間の創造を重要な基盤としながら、快適空間の上に築かれる人の暮らしや社会のあり方までも含め、60万県民一人ひとりが知恵と力を合わせ、世界に誇れる21世紀の鳥取県を築いていこうという総合的な目標であり、「公園都市」実現をめざして4つの課題と20の戦略プロジェクトによって取り組まれてる。

「公園都市」鳥取県とは、政令指定都市が人口50万以上であることから、人口61万5千の鳥取県を東・中・西部の枠をこえたひとつの都市とみたと、県全体が、「まち」のもつ「活力とにぎわい」、「むら」のもつ「ゆとりとやすらぎ」を併せもつ、一体感のある地域社会となることであると唱えている。

浅田氏は、鳥取県の特性、風土、環境に触れられ、いかに鳥取県が恵まれた環境であるか話された上で、7次総の事業に組込まれている交通基盤の確立、小売店と一体となった特産品の開発展開、地方分権の時代に求められるものの模索、日本海時代へ向けての対岸施策等を説明された。

「公園都市」鳥取県を実現する上で、単に行政機関レベルでやろうとしても自ずと限度がある。県民の皆さんが何を考え、何をしたいのか的確に把握できるシステムを確立し、そのシステムを使って地方自治に活かしていくことが、第一の課題である。また、何をするにしても基盤となるところで、鳥取県はどんなところで、どこが、なにが自慢なんだというもの。根底に自信となるものがないといけない。県民一人ひとりの生活レベルで感じる誇り、鳥取県に生まれて良かったといえるそういった誇りを作るべきであり、「とっとりの誇り」創造・発信が7次総のハートであると60万県民の新しい知恵と力の結集の重要性を力説された。

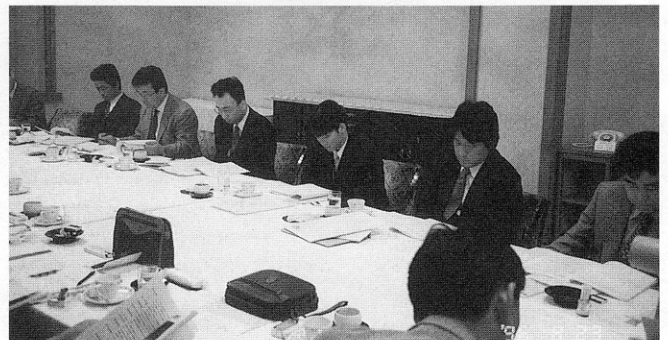


1996年 新入会員オリエンテーション開催

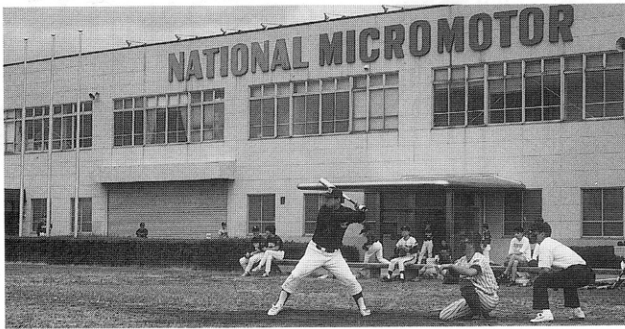
8月23日(金)PM6:30米子国際ホテルに於いて新入会員の為のオリエンテーションが行われた。まず初めに松本会長より歓迎の挨拶があり、続いて出席者全員による自己紹介の後、講義に入り松本会長より今年度の活動方針について説明がなされた。続いて音田幹事、事務局長足立様により中小企業団体中央会の組織について説明があり、足立幹事により中央会活動について、20周年ビデオを見ながら歴史を学んだ。最後に小原幹事により新入会員としての心構え、会則及び規約について説明を受け、新入会員一同、終始緊張した面持ちで講義に聞き入った。

席を移して小原幹事の乾杯の音頭で懇親会が開かれ、アルコールも入り次第に緊張もほぐれ談笑が続く中、締

めくりに足立幹事の乾杯で、会員一同今後の活躍を誓い合って幕を閉じた。



中小企業野球大会開催



8月24日AM9:00この日は、中小企業野球大会、雨が降ったりやんだりといくくの天候の中、ナショナルマイクロモータのグラウンドにわれらが西部青年中央会野球部のメンバーが集まってきた。空を見上げながら今日は試合ができるかななどと、話しをしている間に前の試合が終わり、さあ試合だ。対戦相手は栗村製作所だ、試合前ノックが始まると何か違うような気がする。やはり野球部同好会結成以来初めての公式戦（間違っていたらスイマセン）のせいであろうか、緊張感があるように思える。（やはり皆人の子であるようだ）

試合が始まると案の定ボールが手に着かないのか思いがけないプレーが続出しあっという間に3回までに4点も奪われてしまった。しかし3回猛反撃開始と思われた矢先思いがけないアクシデントが起きた。3回まで好投していた石指会員が3塁滑り込んださいに足を負傷し交替してしまった。（けがの具合はどうだったのか？）

しかしそれを機にチーム内に落ち着きとまとまりが出来、互角の試合内容のゲームになり緊迫した試合になっていく。4回表から急遽投板することになった岩田副会長が力あふれる投球をしチームの反撃を待った。そして4回裏浜田会

員が先頭バッターで3塁打を打ち得点のチャンスをつかむが、後一本がはずれ得点出来ず。6回1失点しその裏が時間の関係で終了のため最終回、何としても得点をあげるべき6回は1番からの好打順。先頭の徳永会員がデットボール出塁するが後続倒れツウアウト、ここで打の大黒柱の一人4番中沢会員が気迫あふれるバッティングでセンターオーバーのツーベースを放ち待望の得点を上げる。が後続が倒れ試合終了。

試合には負けたが、松本会長・阿部直前を筆頭にチーム一丸となり戦う姿勢・団結力はこれから、青年中央会の野球部が強くなっていくように思えてならない。

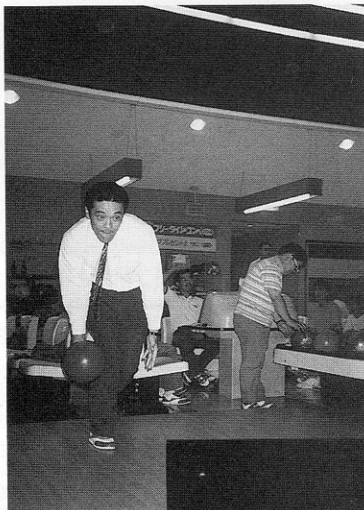
この後大連で打ち上げが開かれ来年の中小企業野球大会にむけて新たな闘志と、試合に勝っておいしいビールを飲むことを誓いあつたと思う。

最後に雨の中応援にOB会員・会員の皆さんに感謝の気持ちと中央会野球部のより一層の健闘を願ってやまない。



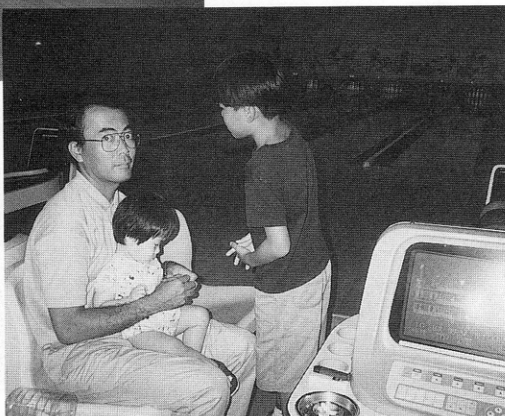
チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
栗村製作所	2	1	1	0	0	1		5
西部青年中央会	0	0	0	0	0	1		1

委員会対抗ボウリング大会



総務委員会企画、委員会対抗ボウリング大会が8月26日ヤングボウルにて開催された。年間を通してのロングマッチの第1回ということで、全委員会そして、会員の家族も参加OKとなり、おぼっちゃま、お嬢様、そして奥様の姿もチラホラ、うかつな会話は御法度という雰囲気の中だけに、さぞかし、ボウリングに集中できたことであろう。

第1回の結果はこともあろうに、言いだしっぺの総務委員会が第1位、2位に広報委員会と、地味な委員会がその存在をアピールした形となった。まだまだ先は長いのだが、トップとの差が200点以上離れている指導力開発委員会は次回以降の発奮を期待したい。



チーム成績

1. 総務委員会	2,516
2. 広報委員会	2,504
3. 政治行政委員会	2,501
4. 情報メディア	2,484
5. 社会文化委員会	2,442
6. 地域ビジョン	2,364
7. 経営委員会	2,333
8. 経済委員会	2,299
9. 指導力開発委員会	2,277

個人成績

1. 和田健二	361
2. 高橋洋志	332
3. 多賀彰穂	320
4. 野嶋 功	317
5. 久古雅彦	313
6. 松田則一	312
7. 内田幸男	307
8. 山中祥子	303
9. 山中隆司	303
10. 茅野康洋	296

8月度委員会報告書

政治行政委員会

平成8年8月7日(水) 於:米子食品会館 出席者/5名

講師/長谷川義明会員

演題/市町村合併問題

今年度の政治行政委員会は、前年度地域ビジョン委員会のテーマでもありました地域合併問題を引継いで、その問題を今年度の年間テーマにしたいとの事で、前年度地域ビジョン委員会委員長でありました長谷川会員に講師をお願いしました。

先ずは、国の財政から始まりそれに対して行政レベルで見ると行政改革(地域合併)が必要ではないかとの事、ただし市民レベルで見ると行政サービスの低下等色々な問題があるそうです。

その後大変勉強になる話を聞きながら個人的意見交換をしました。

社会・文化委員会

平成8年8月8日(木) 於:米子食品会館 出席者/16名

講師/米子しんまち天満屋 トレーナー 清山由紀子、村河理恵子

人事部長 佐々木彬夫

演題/働く女性

1. 講師先生の自己紹介
2. 職場での社員教育(社員・契約社員・アルバイト・派遣社員)
3. ディスカッション方式による主な内容
 - (1) 若い女性について
 - (2) 社員間、主に派遣社員との関係
 - (3) 時間制勤務による連絡方法
 - (4) セクハラ問題
 - (5) 社員同士の人間関係

結論/各人とのコミュニケーション、特に若い女性には、納得のいくよう指導。与えた仕事は必ず報告させる。これらの事から、相手に対する思いやりや、個々の能力を理解し、接して行く事が一番大切である。

経済委員会

平成8年8月7日(水) 於:米子食品会館 出席者/11名

8月担当例会打合せ

講師/尾崎輝雄氏(日本海新聞西部支社編集局長)

堀田裕史氏(日本海新聞西部支社編集局記者)

演題/大型店出店について

米子の大型店出店問題について日本海新聞の尾崎・堀田両氏を招いて、日吉津に進出予定のジャスコや進出をとりやめたダイエー等の問題点を話し合った。又、米子の活性化や駅前ホテル進出問題等も含めて活発な意見交換が有り、有意義な委員会であった。

地域ビジョン委員会

平成8年8月22日(木) 於:ホテルサンルート米子 出席者/11名

内容/委員会運営方針方法について検討する。

●山陰夢みなど博覧会への中央会としての取り組み方

委員会で、博覧会事務局、県、米子市、境港市と連携を保ちながら開催までの雰囲気作りと、開催中の催事への積極的な取り組み方について検討する。

経営委員会

平成8年8月9日(金) 於:米子食品会館2F研修室 出席者/12名

講師/尾沢三夫OB(第15期卒)

内容/人との出会いをととても大切に考えておられる尾沢氏は、委員会開始の1時間半も前から会場にこられ、講演の準備をなさる程熱心であった。

講演に入っても終始立ち放しで熱く語られる姿は、メンバー全員を圧倒する迫力であった。何事にも情熱と哲学を持って行動される尾沢氏からは、学ぶべきことが誠にたくさんあった。内容については、とてもここに書ききれないし、一度会員の方は直接チャンスを得て、尾沢氏のお話を聞かれることをお勧めする。尚2次会でも尾沢氏の熱弁はさめやらず、夜の花のホステスさんも近よれず、色あせてしまうほどお話またお話の大盛り上がり大会であった。

情報メディア委員会

平成8年8月24日(土) 於:弓が浜展望駐車場近くの松林 出席者/11名

内容/家族委員会という名目で大バーベキュー大会を開催しました。目的は、委員会の一面を家族に見てもらい、青年中央会活動に理解、側面での協力をお願いする事に有ります。奥さん方側の感想は、出席した各委員がそれぞれ聞くとして、委員会側としては一応の成果を取れたと感じています。

さて、内容について……

寄せ集めとは思えない本格的野外セットを持ち込んでの野外バーベキュー大会!食材も豊富で、「焼き肉」「焼きイカ」「やきそば」etc… しっかり食べられた様です。ゲームも「スイカ割り」「ビンゴゲーム」を行い、景品は子供達が喜ぶようにと「玩具」を用意しました。

各委員の家族を包み込んでいる優しく頼りになるおとうさん「姿」が印象的でした。

指導能力開発委員会

平成8年8月9日(金) 於:米子食品会館 出席者/12名

講師/竹中泰二

演題/個性学

初めて講師先生を呼び、実際の委員会がスタートした。指導能力開発という新しい委員会なので何からどう研修していくか多少とまどっている。

今回は「個性学」の竹中泰二さんを講師に引き、本来その人が持つ個性の中にあるタイプを分別し、どのタイプの組合せが好ましいかを学んできた。

各人にレポート式の分別表が配布され、かなりの中しているコメントに目をみはった。できれば企業内のコミュニケーションの一助がしたいと考える。

広報委員会

平成8年8月7日(水) 於:米子食品会館 出席者/13名

内容/1.「ハンサム9月号」編集について

2. 中央会ホームページ 高校向け就職情報の取り扱いについて

総務委員会

平成8年8月5日(月) 於:いこい 出席者/14名

内容/1. 親睦ボウリング大会について

2. 新入会員勧誘パンフレット作成について



第2回 オールジャパンジュニアトライアスロン IN 岸本

「第2回オールジャパンジュニアトライアスロンIN岸本」は、8月25日、国立公園・大山のすそ野に広がる岸本町総合スポーツ公園とB&G財団岸本海洋センターに、1府6県から前回は100人上回る246名のチビッコたちが出場し、残暑の中、「ミニ鉄人」たちが体力の限界に汗びしょりになって挑戦した。

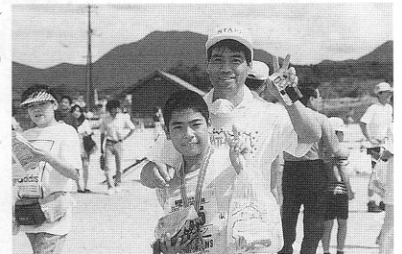
この大会は、平成6年度地域交流委員会(景委員長)が企画し、岸本町と協力し、競技、運営役員は皆生トライアスロンの青年中央会のベテランスタッフが中心に、約150名のスタッフで構成され実施された。第2回目にあたる今回からは完全に岸本町が主き継ぐ予定となっていたが、昨年の景競技委員長の「ボランティアの要請があれば快く協力を致します」のこぼし通りに、本年も青年中央会の懇親的な協力のもと、大会前に連日に渡って詳細な打合せを行った。第2回大会も、全てが予定通りに運び、選手の途中棄権も事故もなく、出場選手は全員完走、無事競技を終了した。

競技の方は、学年ごと男女別3クラス(1・2年、3・4年、5・6年)6種目と男女混合で小学生を含む3人1組リレーの計7種目。B&G財団海洋センタープールでの水泳に始まり、アップダウンの激しいスポーツ公園内のマウンテンバイクコースを中心に自転車疾走。最後は公園内でのランニングに挑んだ。選手たちは、午前8時からグループごとにスタート。夏休み中で真っ黒に日焼けした肌を輝かせながら、父兄の応援と大会ボランティアの温かな応援の中、一生懸命、力泳、力走し、それぞれの力を振り絞ってゴールに飛び込むチビッコ選手の姿には、心を打たれるものを感じた。

第1回大会で、水泳終了後に体調不良でただ1人途中棄権した、福米東小学校の木村将吾君、今回はBクラス82人中26位の好成績で見事に完走。ゴール後に

「完走できて本当にうれしい。感動しました。」のこぼし、そして閉会式終了後、帰路に向かう関西弁の父兄から、「ありがとうございます。子供に夢を与えてくれました。また来年もきます。」のこぼしに、我達スタッフ一同のいままでの苦勞もかき捨て、来年もまたこの大会を成功させようという気持ちでいっぱいになりました。本当に皆様、ご苦労様でした。(PS.自分の子供が、わき腹を押さえながら、必死でゴールに向かう姿に目がしらを熱くしたのは、私1人でしょうか? 違いますよね、仁司君がゴールに入った時、目が赤くなっていましたよ、石谷会員!)

(広報・安藤)



Challenge

第三回 湖山池ダンボール手作りカヌー大会

去る8月25日朝霧もあけた7時30分、4人のカヌーの達人？が集結。一路鳥取へ向け出発。そう今日は、東部青年中央会主催の第3回湖山池手作りカヌー大会の日である。メンバーは、阿部直前会長・角田元県会長・宮廻副会長・松本、そして会場にて藤居元会長も合流。優勝賞金20万円に目がくらんだわけでもないが、そうそうたる豪華メンバーである。優勝というよりは転覆だけはしたくない、なんとかゴールはしたい、そんな思いで東部青年中央会の皆さんに作っていただいたカヌーを拝見。なんとダンボールのカヌーである。湖山池を泳ぐ姿が目に見え、嫌な予感。そうこうしている間に呼び出しの音が掛かる。一番手は私松本、相手はもちろん、東部・中部青年中央会の面々だ。一人乗りのカヌーに乗り込み、「米子から来るとに負けられんぞ！」「生きて帰ろうと思うな！」の声援をバックに用意スタート。しかし真っ直ぐに進まん、景色が回る。こりゃいけないと焦っている、いきなり中部が転覆して東



部が沈没しているではないか。労せずしてトップ、あとは無理せずゴールするだけだ。それで気持ちに余裕ができたのかだんだん慣れてきたのもあって、なんとかゴールすることができた。優勝タイムには遠く及ばないがほっとする。さて次は、阿部・角田チームの登場である。やはり相手は東部・中部である。カヌーの手直しもおわり、打ち合わせもおえ、アナウンサーのお姉さんのインタビューにもヤル気マンマンのお二人であった。が、悪夢のような出来事がその後起きようとは、誰しも予想だにできなかったであろう。カヌーに乗り込んだ瞬間、かなりきゅうくつそうなカヌーがくると横転、そのまま池へ。気を取り直してもう一度トライ、スタートするがやはり今度は中部・西部と同時に……。それを尻目に東部は悠々ゴール。帰りの車中カヌーの話題はなぜか誰もふれませんでした。皆さん、お疲れさまでした。最後に、東部青年中央会の皆さん、大会準備が忙しいなか、私どものカヌーまで準備していただき大変ありがとうございました。尚、大会のTV中継が9月7日AM10:00から山陰中央テレビであります。



聞いてごしない Part 10

地平線に弱々しく立ち登る入道雲をみると「もう夏も終わりだなあ」と妙に感傷的な気分になってしまう今日この頃。会員の皆様にとってもさまざまな夏を過ごされたのではないのでしょうか。西部地区では、境港のコンサート・トライアスロンをかわきりに夏のイベントがスタート。そして県内各地で8月の最終日曜日まで、いろんなイベントが開催されたようです。

地域イベントは、そこに住む人の人柄や風土を、訪れた者に感じさせてくれます。また、イベント感覚でやってみたことが、街づくりになっていったというケースもあるようです。世の中デジタルな方向に進んでいるようですが、やはり、人と人がひとつのことで一所懸命ガンバル姿は、参加していても気持ちがいいものです。などと言っている私は、この8月みっちり仕事をさせていただき、ありがたいことだと感謝していますが、その折りちょうどお盆のまただ中に、境港で仕事があり「水木しげるロード」が完成したと聞いていましたので、ついでにぶらぶらと歩いてみることにしました。ところが、おどろ木、桃の木、水木しげるロードでした。あの閑散としていた商店街に舗道からあふれんばかりの人、人また人。何のイベントをやっているわけではないのに、いるわいるわの老若男女。その中を歩きながら聞こえてくるのは、関西弁や岡山弁など県外の方言も随所で聞こえ、今や水木しげるロードは全国区になりつつあるのではないかと思えてきました。今までは境港という街は水産の街というイメージから、少しずつ変わってきているのではないかと。境港市は今新しい顔をつくり始めている、あるいは全国区へ発信できるイメージ＝記号をもち始めていると聞いていいのではないかと。などと歩き疲れて入った茶店で、かき氷を食べながら考えていました。そこのご主人と話をしていたら「つい最近まで、鬼太郎でこんな人が集まるなんて、思ってもみませんでしたよ。まして私が去年までやっていた商売をやめて、鬼太郎で商売するなんて考えてもみませんでした。」とおっしゃる。この夏、おそらく何万人もの人が境港を訪れたことは間違いないようです。「海と鬼太郎」という記号をもった境港。その記号によって境港という街が浮かび上がってきます。さて、米子はどんな記号をもっているのでしょうか。 [笑太郎]

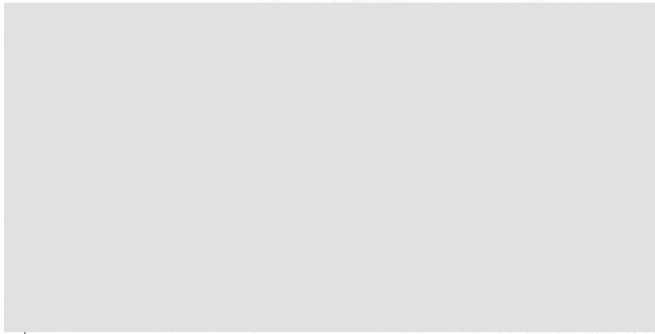
9月例会案内

と き 平成8年9月18日(水) 午後6時30分～
 ところ サンシャイン平安閣
 演 題 「事業継承と経営」
 講 師 税理士 鶴田和彦
 担 当 経営委員会
 ※出席の有無を9月12日までに返信ハガキにてご回答下さい。

9月役員会報告

9月定例役員会が9月2日(月)、米子食品会館に於いて開催された。当日の主な議題は、次の通りです。
 (1) 9、10、11月例会開催の件
 (2) OB交流会開催の件
 (3) 新入会員承認の件
 (4) その他
 ※尚、詳細については、各委員長までご照会下さい。

新入会員紹介



編集後記

8月は世間では夏休みと相場が決まっている。日頃、気の引けることばかりのお父さんとしては、家族とご先祖様への贖罪でかえって疲れる8月である。我が中央会のメンバーもご他間に漏れず、胃腸も休まるときがない忙しい8月だったと思う。くれぐれもご自愛いただき、9月のさわやかな残暑を楽しんでいただきたい。毎年この時期になるとしみじみ思うのだが、振り返ってみると、お父さんに夏休みなどない。

連絡事項

夢みなと博覧会チケット入金口座
 口座名義人 鳥取県西部中小企業青年中央会 夢みなと博覧会チケット委員会会長 松本 啓
 預金口座 米子信用金庫本町支店 普0355290 ※各委員会で販売チケット代金を、委員長・企業で振込いただく口座となります。